

『輝け雪』のまち

ぬまた町

# みんなの議会

2024年2月  
第96号



スキー! 大好き!!

- P 2 第4回定例会 主な議案・補正予算
- P 4 町政を問う 6名(7件)が一般質問
- P 7 臨時会
- P 8 議会の動き



沼田町議会 検索

# 令和5年 第4回 定例会

## 上程された おもな議案

以下の議案についてすべて全会一致で承認されました。

### 12月14日

令和5年第4回定例会が開催されました。決算審査特別委員会の報告がなされ、決算が認定されました。

その後、町長の一般行政報告等と6名の議員が7件の質問を行いました。

- 会計年度任用職員の給与等改正する条例  
(北海道最低賃金改正にともなう)
- 国民健康保険税条例の改正  
(出産前後期間の保険料免除)
- 沼田町手数料条例の一部を改正する条例  
(戸籍謄本等の広域交付事務の追加による)

## 補正予算

## 一般会計

一般会計の予算総額から3116万円を追加し、予算総額を56億5011万円とする補正予算を承認しました。

年度末予算執行残整理のほか、主なものは以下のようになります。



○旧化石レプリカ工房解体事業 870万円減  
解体にともなう工事費の減額

○農業・経営所得安定対策推進費 529万円  
畑地化促進事業での改良区への決済金

○観光振興費 60万円増  
夜高あんどん事業の経費増額に対応する補填

○キャンパスライスプロジェクト委託料 300万円増  
支援金増額による経費の増額

○戸籍住民基本台帳費委託料 490万円  
全国自治体での戸籍共有・どこの自治体でも戸籍の発行ができるようになります

第1目標800万円達成！  
ありがとうございました！

ネクストゴール挑戦

支援人数を  
2000名→2500名へ増員！

1,000万円に挑戦!!!

○社会福祉総務費 3475万円  
住民税非課税世帯への臨時給付金

○深川地区消防組合負担金 2270万円減  
職員の減員にともなう減額



# 空知町村議会議長会表彰

第4回定例会直前に本会議場に於いて空知町村議会議長会表彰の伝達が行われました。

小峯聡議長と鵜野範之議員が、それぞれ議長・副議長として4年以上務められたことに対して表彰を受けました。



## 傍聴席



今回の定例会の傍聴者は3名でした  
YouTubeの再生は290回でした

みなさまの傍聴をお待ちしています。

## 沼田町議会の定例会はインターネットで生中継しています

ライブ配信とも言われますが、スマホやパソコンのYouTubeを使って観ることができます。ただし、生中継なので実際に議会の開会中にしか観ることができません。

もちろん議場で傍聴していただくと一番臨場感がありますが、役場ふれあいの1階ロビーにあるテレビでも視聴することができます。

### 視聴方法

- ・スマホやパソコンでYouTubeを開く。
- ・検索窓(虫メガネ)で「沼田町議会」と検索。
- ・「沼田町議会」をクリックして再生



町長、教育長への

一般質問



鵜野 範之 議員

スマート農業で省力化、人材確保負担の軽減を

新たな視点の人材確保や農作業効率向上策が必要



横山町長

鵜野

各産業同様、農業においても人材確保が難しくなっている。人材派遣、外国人実習生に頼っても、賃金の高騰から働き手が見つからない。

スマート農業技術の活用で、農作業の省力化は図れるが、高い導入コストがネックになっている。携帯電話の電波が届かない地域もあり、全農家が利用できるための環境整備が必要ではないか。



真布地区での実証試験の様子

町長

人材確保の困難と、経費負担の増加は承知しています。農協をはじめ関係機関と対応を検討します。

将来は外国人の確保も難しくなると予想されるため、新たな視点での人材確保や農作業効率の向上策を講じていく必要があると考えます。

スマート農業の必要性は今後も高まると考え、機械導入に対する制度設計も検討していきたい。携帯電話の電波が届かない地域では、新たな通信システムを活用する実証試験を行ない、検証を進めています。

本町農業が持続発展し、さらに儲かる経営の確立のため、関係機関とともに取り組みます。



伊藤 淳 議員

葬儀に利用しやすい町民会館の改修が必要では

早急に対策を講じるべき課題のひとつと考える



横山町長

伊藤

近年、町外での葬儀が全体の半数以上になるのではないかと推察するが、参列が困難という声もある。令和3年度から5年の町内と町外の葬儀件数はどうだったのか。

町民会館の改修を行い、葬儀に利用しやすくする必要があるのではないかと。特に設備の機能充実と駐車場の確保をどう考えるか。

町長

質問のとおり、葬儀の半数以上が町外で行われている状況にあります。高齢化社会の中で参列者の利便性や、地域経済的な視点からも葬儀のあり方の検討が必要であると考えます。

町民会館の改修については、利用しやすいようにフロアを区切るとか、遺族の宿泊に関わる設備、空調の整備などが必要と考えます。

駐車場の確保は、旧ゲートボール場の利用を検討します。どのように葬儀に対応できるのか、対応可能な企業が存在するのかなど、商工会を通じて早急に対策を講じていきます。







上野 敏夫 議員

学力を高めてどのような子どもを育てたいのか

社会の中で生きる力とたくましい精神を育てたい



横山町長

一貫連携教育の特色を活かしながら学力向上につなげていく

上野

沼田町は全国学力学習状況調査の結果が空知管内の平均には及ばなかったが、世界に羽ばたく子どもを育てるためには学力を向上させる必要がある。学力を高めてどのような子どもを育てたいのかを聞きたい。

町長

この自然豊かな沼田町だからこそ、様々な経験を重ねて、社会に対応できる生きる力を持った人材を育てることができると思います。

点数も大切ですが、社会の中での協調性とたくましい精神を兼ね備えた人材の育成が目標です。

教育長

全国学力学習状況調査の結果を受け止め、各校長のリーダーシップのもと、ICTを活用しながら一貫連携教育の特色を活かして学力向上につなげていきます。



三浦 剛 教育長



長野 時敏 議員

学力日本一の村から何を学ぶのか

子どもたちと対話し一人ひとりを大切にすることを進める



三浦 剛 教育長

長野

沼田学園では学力日本一の秋田県東成瀬村から元教育長を招き、研鑽に努めたと聞く。この村は、一貫教育を含めて良い手本だと感じている。

教育長は、東成瀬村の教育から何を学び、どう進めようとしているのか。現状と課題は何か聞きたい。

教育長

東成瀬村では、主体的、対話的で深い学びというものを実践しています。沼田学園でもこれに準ずる取り組みを進めています。特に子どもたちと対話をしながら、一人ひとりを大切にすることを進めています。

一貫連携教育の現状は、小中統一した授業スタイルによる学習・生活規律に取り組んでいます。

課題としては、教員は人事異動がありますので沼田スタイルの共通理解を常に図っていくことにあります。ICT活用についても共通認識を図ることが重要で、研究課題として取り組んでいます。





篠原 暁 議員

男性職員の育休取得を進めるためには

制度を利用しやすい職場づくりを進める



横山町長

篠原

日本は依然としてジェンダー平等の達成率が低いですが、そのひとつとして男性職員の育児休業取得率の低さがある。

道内自治体でも徐々に増えている中で、沼田町は依然として0%にとどまっている。町としてどのように取り組んできたのか。

責任感の強い職員は、特に休みを取りにくい状況があるのではないか。

町長

条例改正に伴い、職員に対する制度の周知は行ってきましたが、本町は顔が見える環境であることから研修などは行っていません。

育児休業は職員の権利なので、利用しやすい職場環境を整えていきます。



篠原議員のその他の質問

問 沼田弾薬支処の機能強化の内容は

答 計画内容は必要に応じて国に説明を  
求める



久保 元宏 議員

スマート行政とは地域おこし協力隊と指定管理か

新たな商業支援員を配置したい



横山町長

久保

すでに沼田町には多くの地域おこし協力隊員と指定管理者が活動をしているが、品質管理の手法として評価制度は活用しているのか。

地域おこし協力隊と指定管理者は、町民にどう溶け込んでいるのか。任せきりにするだけでは、町民との間に距離が生じてしまうのではないか。

商店の廃業が続く中、疲弊している商店に対して地域おこし協力隊員と指定管理者は効果的に役立っているのか。

町長

指定管理者の評価は監査委員が行っており、定期的に情報交換も行っていることから評価委員会の設置は行っていません。

町が縮小していく中で、町外でいろいろな経験をしてきた人が1人でも多くいることが存続の鍵になると考えます。

商店が疲弊しているという状況に対しては、新たな方策を検討中で、商業支援員という形で協力隊を招へいして商店の稼ぐ力をサポートします。





**第7回 臨時会** 令和5年11月30日

補正予算

○物価高騰対策事業

商工業者	個人事業主5万円、法人10万円の支援	830万円
農業者	経営面積に応じた生産資材の高騰対策支援	1859万円
全世帯	1人あたり5000円の商品券配布	1588万円

○人事院勧告を受けての議会費・特別職・職員費・会計年度任用職員の増額

○高齢者世帯等福祉灯油助成事業（12月1日単価 X 100ℓ） 270万円

○公営住宅修繕 150万円

**第8回 臨時会** 令和6年1月16日

補正予算

○ふるさと納税関連費 3750万円

ふるさと納税額の増加にともなう返礼品経費等の増額

○ふるさとづくり基金指定寄附積立金 7500万円

○住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金事業 838万円

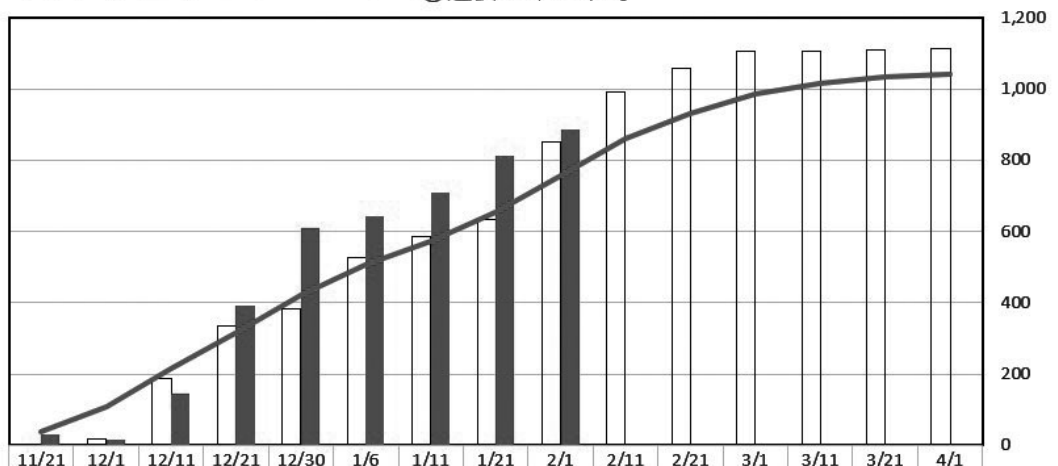
○低所得者の子育て世帯に対する臨時特別給付金事業 164万円

○道路橋梁維持対策費 1000万円

降雪量増加に対する除排雪費用計上

**沼田町の降雪量**

□ ①2022～2023      ■ ②2023～2024  
— ③過去10年の平均



□ ①2022～2023	3	16	186	335	383	528	585	634	850	991	1057	1105	1107	1110	1113
■ ②2023～2024	29	16	145	392	608	644	711	811	887						
— ③過去10年の平均	39	109	215	315	420	508	574	655	759	860	932	985	1017	1033	1040

## 常任委員会の活動状況

# 総務民教建設常任委員会

○所管事務調査報告のまとめに入りました

## 「地域防災と防災拠点について」

総務民教建設常任委員会では、ここまで3つの所管事務調査項目を並行して取り組んでいます。その中のひとつ「地域防災と防災拠点について」は、3月の議会での報告に向けて詰め段階に入りました。

令和6年は、元日から能登半島の大地震が起これ、防災に対する心構えがいかに大切であるかを改めて思い知らされることになりました。

沼田町では平成30年に起きた胆振東部地震によるブラックアウトの教訓から、防災への取り組みが進んでいます。災害時に衛生的なトイレ環境を維持できるトイレトレーラーもそのひとつです。

今後しっかりと提言をできるように最終的な作業を進めています。



被災地に向けてトイレトレーラーを届ける亀谷議会事務局長と潮屋防災専門員

## 沼田町も被災地を支援

この度の震災で被害に遭われた地域に対して、沼田町からも支援金を届けました。

空知管内町村会の取り組みとして、石川県には各町から50万円、友好姉妹都市の小矢部市には沼田町独自の取り組みとして町から100万円、議員会から10万円を届けました。

さらに、ふるさと納税の仕組みを利用した寄附金の募集にあたり、被災地の事務負担を軽減するため小矢部市に代わって沼田町が代理で受け付ける取り組みも行っています。

令和6年能登半島地震  
富山県小矢部市  
代理：北海道沼田町  
【支援寄附金受付】

寄附は「ふるさとチョイス」のサイトで受け付けています。



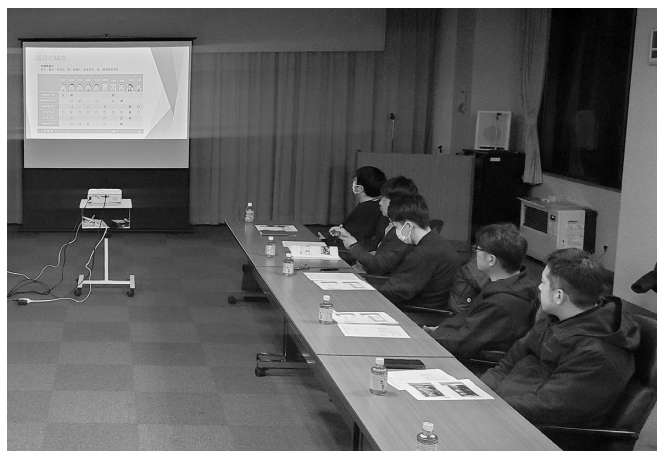
# 産業福祉常任委員会

## ○若手商工業者・商工会青年部との意見交換会

令和5年11月27日に、「商業インフラで持続可能なまちづくり」をテーマとして、若手商工業者・商工会青年部7名との意見交換会を行いました。

常任委員会より安平町や喜茂別町を視察した結果について説明を行ったあと、今後の商店街や起業について話し合いました。

沼田町が目的地となるよう既存の商店の可能性を考え、新商品や新メニューを開発したり町内インフラにも力を入れ、町外からの起業や移住にも期待して関係人口を増やし、チャレンジショップを併設した拠点作りを考えていきたいなど、活発に意見が出されました。



視察について説明をする伊藤委員長

表紙の写真

みんなの広場

表紙の写真は沼田小学校に通う2年生の児童です。保護者の方からは、「スキーを始めて3年目で、初心者にも利用しやすくロッジからスキー場全体が見えるのでとても安心する」と好評でした。

スキー場を支えるスタッフとして索道管理担当の方からは、「ペアリフトになったことで安全性が各段に向上したことやナイター時間は町外の方も多く、特に大人の方の利用が増えた」との事です。

ロッジ内の食堂では、「昨年からのリピーターの方や新規で多くの方に利用していただいています。スキーをしなくても食事に来ていただきたいです。また、食堂で働ける方を募集中です」とコメントをいただきました。



リフト乗り場で補助をする索道スタッフ



仕込みに大忙しの食堂運営の皆さん

今年の思いは  
この一文字

昇



小峯議員

纏



畑地副議長

誠



大沼議員

感



上野議員

和



鵜野議員

久



久保議員

抗



長野議員

聞



篠原議員

人



伊藤議員

健



三浦議員

進

亀谷局長

高

中山書記

あとがき

晴天の下、令和6年の元旦を清々しく迎えたところでしたが、能登半島で大規模な地震が発生し甚大な被害をもたらしました。

1月20日に沼田町のトイレトレーラーが石川県珠洲市に向け出発しました。少しでも避難地域での衛生環境の改善に役立てていただきたいです。

友好姉妹都市である富山県小矢部市も人的被害は少なかったものの家屋や道路などが損壊する被害がありました。

落ち着いた日常を取り戻せるよう一日も早い復旧と復興を願うところです。

広報特別委員

- 篠原 暁
- 三浦実希
- 畑地 誉
- 伊藤 淳